

自主臨床研究

血液腫瘍・免疫グループ

初発時慢性期および移行期小児慢性骨髄性白血病を対象とした ダサチニブとニロチニブの非盲検ランダム化比較試験

研究の対象

登録時年齢18歳未満の初発時慢性期(chronic phase, CP)および移行期(accelerated phase, AP)慢性骨髄性白血病 (chronic myeloid leukemia, CML) で病期進行が無い小児患者（未治療例およびイマチニブ以外のTKI治療歴の無い既治療例）、研究参加の同意が文書で取得されている症例を対象とする。

研究目的・方法

登録時年齢18歳未満の初発時慢性期(CP)および移行期(AP)慢性骨髄性白血病（CML）で病期進行が無い小児患者（未治療例およびイマチニブ以外のTKI治療歴の無い既治療例）を対象として第2世代TKIダサチニブとニロチニブの治療継続期間を評価する。第一の目的は、割り付けられたダサチニブとニロチニブの継続性を評価することである。

プライバシーの保護

登録患者の氏名は参加施設からデータセンター等に知らされることはない。

お問い合わせ先

大阪大学病院小児科
宮村能子